

第1回青梅市健康増進計画推進会議【議事録】

《会議の概要》

開催日時	平成 25 年 11 月 13 日(水) 13 時 30 分～14 時 50 分
開催会場	青梅市健康センター1階 相談・指導室

出席者	委員	学識経験者	1名	(うち2名欠席)
		医療保健関係者の代表	4名	
		企業関係者の代表	1名	
		市民団体の代表	2名	
		公募の市民	2名	
	事務局	10名		

議題	(1) 会長の互選について (2) 副会長の互選について (3) 今後の策定スケジュールについて (4) 平成24年度市の取組状況調査の報告について (5) 健康づくり・食育に関する市民意識調査について (6) その他
傍聴人の数	0名

《議事の要旨》

事務局	第1回青梅市健康増進計画推進会議 開会の挨拶 委嘱状の交付 副市長より挨拶
事務局	委員の紹介 事務局の紹介 議題(1)会長の互選について
委員	会長の互選 会長は、北島委員でどうか 「異議なし」
会長	挨拶
事務局	議題(2) 副会長の互選について
委員	副会長の互選 副会長は、江本委員でどうか。 「意義なし」
副会長	挨拶
会長	今回のこの会議では傍聴希望者がおりませんので、早速議事に入りたいと思います。
事務局	議題(3) 今後の策定スケジュールについて 推進会議は、平成25年度に、今回と2月の2回実施し、平成26年度は、5月、8月、10月、12月の4回の計6回開催し、委員の方には、計画策定にあたり、御意見等をいただきたい。
委員	会議の開催日程については、平成25年度は本日の開催とあと1回、平成26年度については、5月、8月、10月、12月の4回の開催としているが、この月に実施するのは決定か。
事務局	現時点での予定である。議題や報告等の内容によって開催時期の変更はある。
会長	タイトなスケジュールであるが、ご協力をおねがいしたい。
事務局	議題(4) 健康増進計画における24年度市の取組状況調査まとめについて
委員	平成23年度、平成24年度の乳がん検診と子宮頸がん検診の受診率について、乳がんはマイナス0.1%、子宮頸がん検診はマイナス0.6%と微減となっているが、何か要因はあるか。
事務局	女性特有のがん検診(乳がん、子宮頸がん)やその他のがん検診について、受診率向上のため、受診勧奨やおうめ広報への掲載など啓発に努めており、自然減少と考えている。今後、更なる受診率向上のため施策を図っていく。
委員	歯科検診の受診率は、微増しているが2.1%というのは、低いのではないか、近隣他の市はどれくらいなのか。

事務局	西多摩圏域においても、各市 5%を割っている。
委員	仮に他市が 4%としても、青梅市の倍である。 歯科検診のみならず、他の検診も、受診者を増やしていく方向で考えていく必要がある。今後どのようにしていったら良いか。
事務局	青梅市の人口からしても、受診率が 2%台は、高いとはいえない。受診勧奨など啓発の充実を図る必要があると考える。
委員	その他の検診も含めて、個別に検診の案内を送っているのか。
事務局	毎年、年度初めに、年間の検診(健診)、教室など健康保健に関わる事業についてのお知らせを戸別配布している。 また、40歳から5歳刻みで70歳までの年齢の方に「各種検診のお知らせ」の個別勧奨ハガキを通知している。
委員	歯科検診の年齢別受診者割合は、どれくらいなのか。
事務局	20歳代から70歳において、全年代について平均的に受診しており、受診していない年代は無い。 なお、傾向としては、60歳以上が3割以上を占めている。 今後は、若い人たちの受診を増やすことが課題と考えている。
委員	60歳を超えて、歯に異常を感じてから、受診する人がまだ多いのが現実である。 8020(ハチマルニイマル)運動は、80歳になってから始めるのではなく、80歳になった時に20本の歯を残せるように、若い頃から意識を持ってもらおうというものです。また、この運動は歯科医師による周知・協力も必要である。 歯のケアに限らず、医療面でのケアも含め、身体全体のケアを共に進めていくことが大事である。
事務局	議題(5) 市民意識調査について 調査対象については、18歳から70歳代の市民の中から、無作為に抽出した2,000人とする。 実施時期については、平成25年12月1日～12月28日とし、郵送による配付・回収を予定している。 今回は、対象者を、地区別に抽出し、各地区の傾向分析を可能とした。 また、健康増進計画および食育推進計画については、健康づくりに関わる計画として密接な関係があり、今回、次期計画の策定が重なったことから、一つの市民意識調査として実施とした。 なお、前回、平成22年に実施した状況は、有効回収数915票、回収率45.8%であった。
委員	回答数が、前回より上回るよう、何か勧奨を行ってみてはどうか

事務局	広報やホームページへの掲載など啓発を行い、回収数が上がるよう検討する。
委員	対象者を、地区別の抽出を行うときは、人口割合で抽出してもらいたい。
事務局	人口割合で抽出する。
委員	「あなたが最近、気になっている病気は何ですか？」の“気になっている病気”というのは、治療中の病気のことか、関心がある病気なのか。例えば、前日のTVで、がんの特集を見ていれば、それが関心のある病気になってしまう。何を知るための設問なのか。
事務局	質問内容を精査し、表記について分かりやすく検討する。
委員	「乳がん検診と子宮頸がん検診について、最近1年間の受診状況」とあるが、乳がん検診と子宮頸がん検診は、隔年(2年に一度)での受診を推奨しているが、このままの表記で良いか。
事務局	乳がん、子宮頸がん検診については、がん検診ガイドラインにおいて2年に1回の受診を勧めていることから、表記について再検討する。
委員	「受診する際に自分で支払う費用は、どれくらいが妥当」とあるが、何の受診時なのか、検診なのか、治療なのか。
事務局	受診については、検診や健診などがある、質問内容を精査し、表記について分かりやすく再検討する。
委員	「たばこが及ぼす健康への影響について」回答欄に「肺がん」とあるが、他にいろいろな、種類のがんがある。この表記でよいか。
事務局	御指摘のとおり、喫煙と関連がある、がんの種類は複数ある。回答欄の内容、表記について分かりやすく再検討する。
委員	1日にお酒を飲む分量を、日本酒に換算するのは難しいのでは。特に日本酒を飲まない人。
事務局	表記や換算方法について、分かりやすく工夫する。
委員	「主食・主菜・副菜を揃えて食べることがありますか」の“主食・主菜・副菜”について区別がつかない人がいるのではないか。図を入れて分かりやすくするのはどうか。
事務局	図などをいれ、分かりやすく表記する。
委員	「食育」については、生涯学習などを活用してみてもどうか。
事務局	活用については、健康づくりに関する、もうひとつの計画である、食育増進計画において検討する

委員	「市が重点的に取り組んでほしいことはなんですか」の回答で“飲酒量・喫煙の抑制”があるが、“飲酒”と“喫煙”は分けた方がよいのでは。
事務局	<p>“飲酒”と“喫煙”の取組みについては、共通することが少ないことから、分けた回答とする。表記についても再検討する。</p> <p>次回の推進会議の開催日については、平成26年2月頃を予定している。詳細については、後日調整をする。</p> <p>また、市民意識調査について、ご意見をもらった内容については後日、修正をしたものを、確認していただきたい。</p>
会長	以上で終了となる。本日はありがとうございました。
	閉会

以上